

当ガイドは、釣行に「必要なもの」から「道具の扱い方とセッティング」、「釣るコツ」を紹介。
一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けましょう!!

★出掛ける前に必要な小物を購入

お買い物リスト | 釣行前日までに要準備!
疑問があったら釣具店に!!

☐ インターロック付きヨリモシ 2~3個

大きさは8号前後を使用します。スナップ付きヨリモシでも可です。

☐ 仕掛け 3~4組



サビキ仕掛けの疑似バリのサイズは4~6号。魚の大きさで使い分けれます。またビギナーは、ハリ数6本くらいが扱いやすいと覚えましょう。
投げ仕掛けは、ハリのサイズ6~8号をサビキ同様にチョイスします。

☐ オモリ 各3~4個



3号から10号までを狙う水深や潮の早さで使い分けれます。根掛かりでロストすることがあるので、予備も用意しておきましょう。(カゴタイプを使う場合は必要ナシです)

☐ その他あると便利グッズ

「フィールドブライヤー」や「タモアミ」など、『ゴールドマニュアルブック』の118ページを参考にしましょう。

サビキ釣りには

☐ コマセ袋 1~2個

袋タイプとオモリと一体化したカゴタイプがあります。使い分けは、裏面をご覧ください。

☐ コマセ 2~3ブロック

アミコマセを使用します。1ブロックで2時間くらい楽しめます。釣る時間を計算して準備しましょう。



チョイ投げ釣りには

☐ 小型片テンビン 1~2個

腕長10cm前後を使うのが一般的です。

☐ エサ

アオイソメを1パック
半日釣りならこれで充分楽しめます。

★釣るための準備

釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣りを!

【スピニングリールの特徴】

ベールアームが回転して糸を巻き取るタイプ。

ストッパーレバー

通常はラインを巻き取る方向で固定します。

ベールアーム

ここに道糸を通して巻く。キャストする時は開きます。

ドラグ

ここを締めることで道糸にブレーキがかかります。また緩めると道糸が出やすくなります。

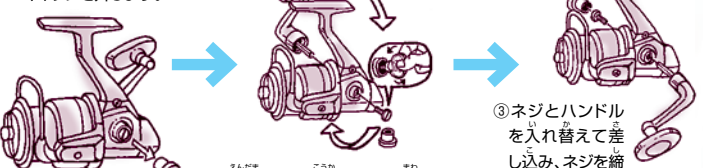
ハンドル

道糸を巻くためのものです。

スピニングリールは、ハンドルを交換して扱いやすいようにしましょう!

スピニングリールはハンドルの左右交換が簡単にできます。ロッド操作は利き手の方が上手くいくので右利きの人は、左ハンドルに。左利きの人は、右ハンドルに変えるのがベストです。

①ハンドルの反対に付いているキャップを外します。



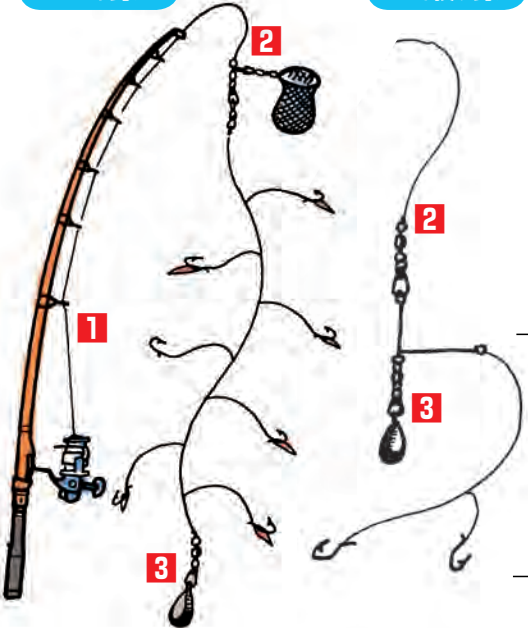
③ネジとハンドルを入れ替えて差し込み、ネジを締め、キャップを付けて完了です。

【釣具のセッティング】

1~3の順でセットしよう

サビキ釣り

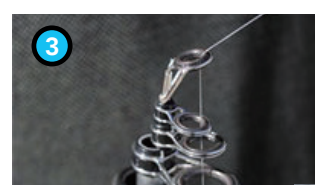
チョイ投げ釣り



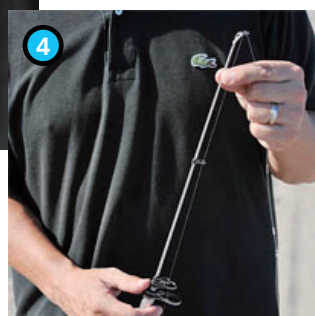
1 チョイ投げ用の振り出し外ガイド竿に道糸を通して伸ばす



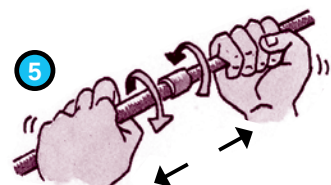
竿の先端にあるキャップを外します。



リールをセットして、ベールを開けて(オープン)糸を出せる状態にします。



道糸をつかみながら穂先から順に伸ばして行きます。



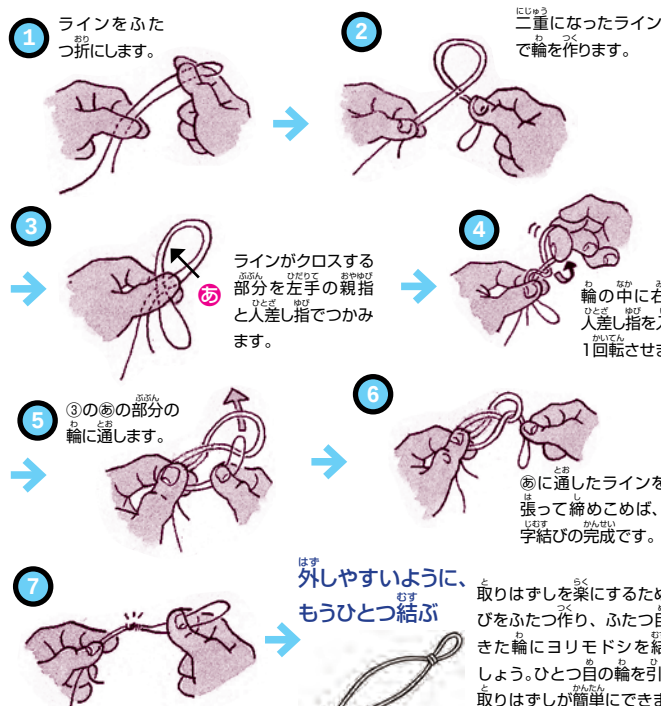
良い例・悪い例



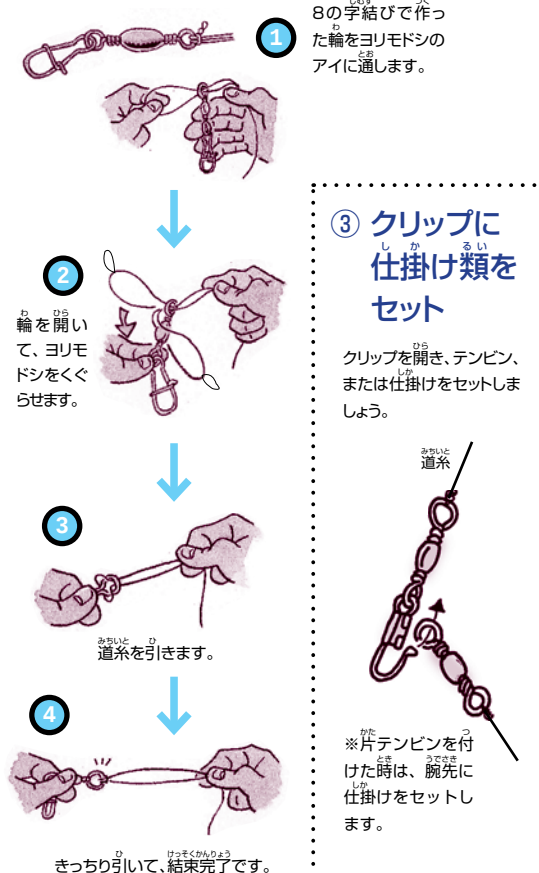
伸ばし切ったら再度、ガイドが一直線になっているかを確認します。この際、継ぎ目の締め具合を調節。ジョイント部を軽くねじ込むように引いて、しっかりと止めましょう。道糸がガイドから抜けないように注意して行いましょう!

2 8の字結びの箱掛けで道糸の先端をインターロック式、またはクリップ付きヨリモシに結び、仕掛けを取り付けます。

① 道糸で8の字結びを作る。

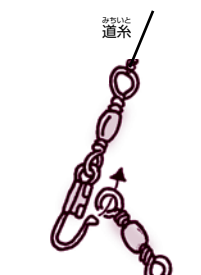


② 箱掛けにする



③ クリップに仕掛け類をセット

クリップを開き、テンビン、または仕掛けをセットしましょう。



※片テンビンをつけた時は、腕先に仕掛けをセットします。

3 オモリを付ける

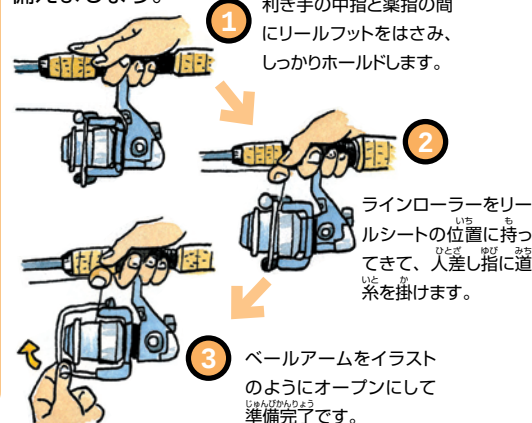
クリップ部にオモリのアイ(環)を通して止めます。



※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

キャストイング

キャストに入る前は、ロッドをしっかりと握って
備えましょう。



①アドレス
脇を締めて、狙うポイントの正面にロッドを向けてイラストのように構えましょう。ルアーのたらし（穂先からルアーまでの距離）は10～15cmにします。



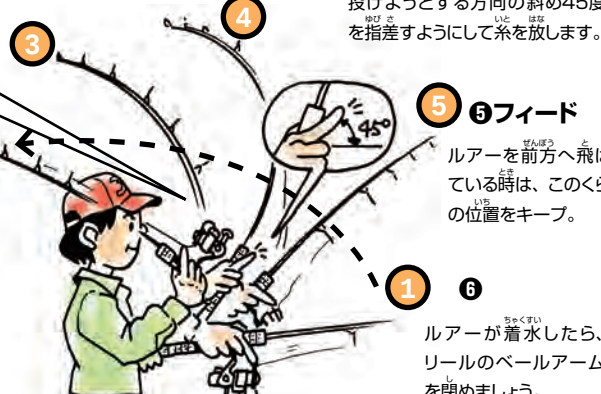
③フォワードキャスト
耳の後ろまでテイクバックさせたら、素早く戻します。軽く手首を返すイメージでキャストするとロッドの弾力性を活かすことができます。



②テイクバック
ルアーや仕掛けが絡まないように、肘だけを垂直に曲げ、ゆっくり振り上げます。

④リリース（糸を放す）
タイミング

投げようとする方向の斜め45度を指差すようにして糸を放します。



※穂先絡みや巻き込み過ぎに要注意！



※むやみにロッドを地面に置かない！

自分はもちろん、他の人に踏まれて折れることがあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、地面に寝かせないように置きます！！

★釣り方のコツ：サビキのマアジ、サバ、イワシ編

集魚効果の高いコマセで魚を寄せる！
コマセの煙幕の中に疑似バリを入れて誘う！！



回遊してくるマアジやサバなどをコマセで寄せ、たくさんの疑似バリがついたサビキに食いつかせるのが、この釣りのシステムです。
アングラーは振り出したコマセの中に、疑似バ리를きちんと入れる操作をするだけ。活性（食気）が高いと疑似バリ全部に掛かり、一挙大漁の期待が持てます。ちなみに、コマセ袋には2つのタイプがあるので、それぞれの誘いを紹介します。

袋タイプの誘い

オモリが底に着いたらロッドを上下に振って、コマセを出しながら誘い上げます。あとは50cm間隔で止めを入れてアタリを待ちましょう。この釣り方で、マアジやサバ、イワシ以外にメバルや小メジナ、ベラなども狙えます。



カゴタイプの誘い

カゴタイプは、魚が見える時に使しましょう。魚の上にカゴを落とせば、自然とコマセの煙幕が疑似バ리를包み込むように落ちてきます。見えている魚のタナ（層）をカゴが通り過ぎたら巻き上げ、コマセを詰め直す。これを繰り返して大漁目指しましょう。



コマセを解凍して使う

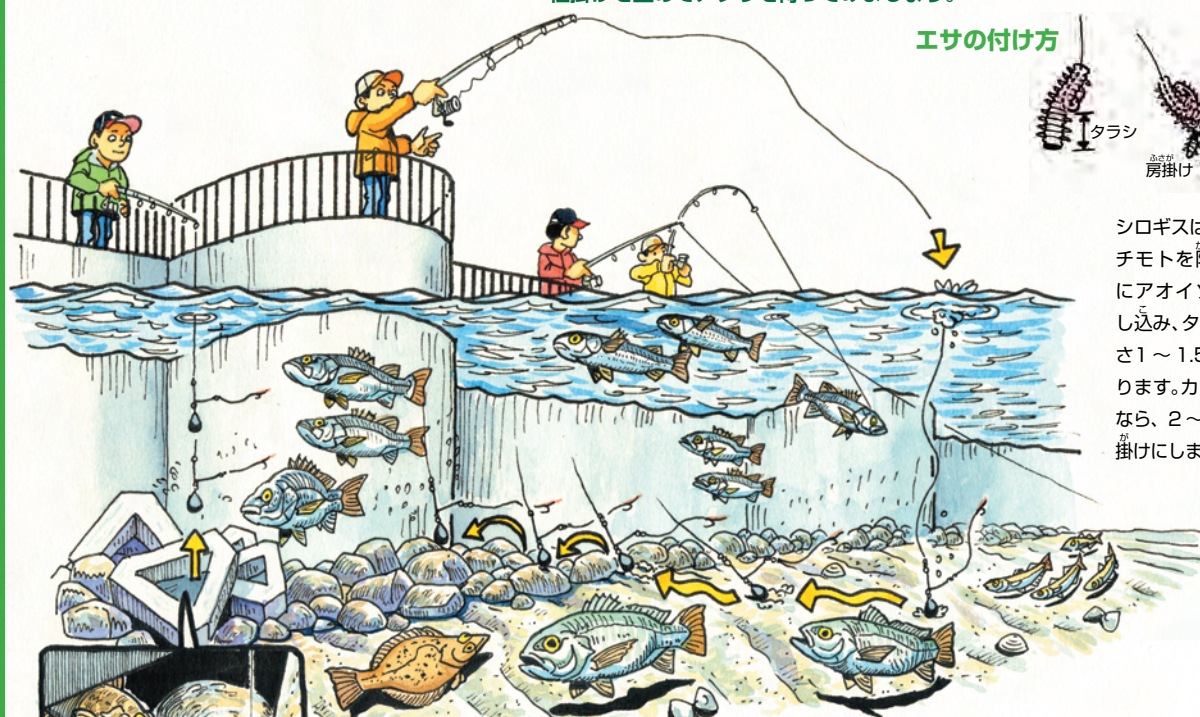
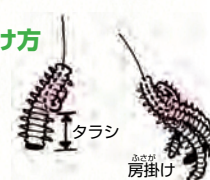
通常、アミエビのブロックは冷凍保存で販売されています。使用する場合は、海水などを掛けて溶かして使しましょう。袋に詰め込む量は、7～8分目ほど。詰め込み過ぎは、コマセが網から出ないので要注意！なお、スプーンやコマセ釣があると手が汚れずに済みます。

★釣り方のコツ：チョイ投げのシロギス、カレイ編

仕掛けを広範囲にキャスト！
ズル引きとボトムパンピングで探ってみよう！！

仕掛けを10～20m程度沖目にキャストして、底を探るチョイ投げ釣り。シロギスやカレイは、潮の影響などでできた「ヨブ（海底の砂地が窪んで波うつ場所）」に潜んでいますので、ここを攻めることが1尾への早道となります。底を引いてきた際、仕掛けが重く感じたところが「ヨブ」の証なので、そこで仕掛けを止めてアタリを待ってみましょう。

エサの付け方



シロギスは、ハリのチモトを隠すようにアオイソメを刺し込み、タラシの長さ1～1.5cmで切ります。カレイ狙いなら、2～3匹を房掛けにしましょう。

根掛かりが多い場合は…

仕掛けが根掛かりするようなら、ボトムパンピングで対応しましょう。ロッドの穂先をチョンチョンと動かしながらリールを巻いて、オモリを弾ませて岩などの障害物を回避させます。仕掛けがフワフワと漂うボトムパンピングは、効果的な誘いにもなります。

足元もチェック！

岩や捨て石などがある堤防の付け根も見逃せないポイントです。仕掛けを落としたり、持ち上げたり再度落としたりを繰り返すリフト＆フォールで探ってみましょう。